

アートは冒険だ！

10月18日(土)～11月3日(月・祝)開催！ アートベンチャー エヒメフェス2025

「アートベンチャーエヒメ」：聞き慣れない言葉ですが、なんだかワクワクする響きだと思いませんか？そのワクワクは正解で、アートベンチャーはアート（文化芸術）と「アドベンチャー（冒険）」を合わせた造語。プロジェクトの主体となるアートコミュニケータ「ひめラー」を中心に、アートを介して人と人、人と地域をつなぎ、そこから生まれる新たな価値や関係を社会に広げ、「愛媛の未来を創造する」新しいアートコミュニケーションプロジェクトです。愛媛県と東京藝術大学がタッグを組み、県内各地でさまざまな活動を展開しています。

今秋、「アートベンチャーエヒメフェス2025」という、今までになかった県民参加型のアートフェスティバルを開催します。このフェスティバルの舞台は、とべもり+（プラス）エリア、砥部町、今治市、内子町。各会場の特性や文化を尊重しつつ、アートを通じて新たな価値や理解を生むことを目指しています。文化芸術の秋、愛媛オリジナルの17日間のアートの冒険を楽しみましょう！

なかつた県民参加型の

アートフェスティバルを開催

します。このフェスティバルの

舞台は、とべもり+（プラス）

エリア、砥部町、今治市、内子町。

各会場の特性や文化を尊重しつつ、

アートを通じて新たな価値や理解を

生むことを目指しています。文化芸術

の秋、愛媛オリジナルの17日間のア

ートの冒険を楽しみましょう！

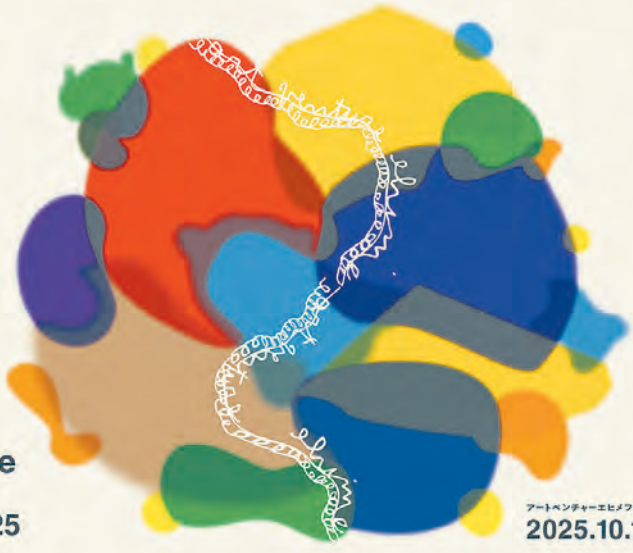
「art venture ehime fes 2025」テーマ
ここにある豊かさ



公式
Instagram



公式
サイト



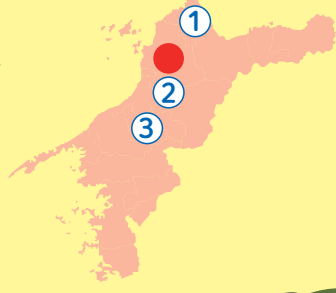
art
venture
ehime
fes 2025

アートベンチャーエヒメフェス2025
2025.10.18(土)～11.3(月・祝)

アートベンチャーに 出かけよう

会期中のイベントをピックアップ！

※各会場・市町主催イベントを含む ※作品展示やワークショップ、パフォーマンスに関する最新情報は公式サイトをご覧ください。



メイン会場

●とべもり+エリア

[えひめこどもの城ゾーン]

◎10/18(土)

●えひめ愛顔の子ども芸術祭2025
「オープニングイベント」「ハプニング縁日」

◎10/18(土)・19(日)

●坂井存+TIAR ワークショップ

◎11/3(月・祝)

●クロージングフォーラム

[県立とべ動物園ゾーン]

◎10/18(土)

●オープニングセレモニー ●夜の動物園

◎10/25(土)・26(日) ●長谷川隆子 パフォーマンス

◎10/26(日) ●とべ動物園の日

[県総合運動公園ゾーン]

◎10/19(日)、11/2(日) ●食のプログラム

◎10/26(日)、11/3(月・祝)

●チームダン パフォーマンス、ワークショップ

[えひめ森林公園ゾーン]

◎10/25(土)

●廖元瑄 × 南和部落(リャウ ユエン シュエン ×
ジョルアラジョ)ワークショップ

●第76回全国植樹祭200日前記念「えひめ山の日の集い」

サテライト会場

①今治市エリア

[丹下建築ゾーン]

◎10/26(日)

●矢内原美邦 高橋啓祐(off-nibroll) パフォーマンス

●海×アートマルシェ

ひびのこづえのワークショップとダンス

●ぼくらのTANGEPARK

[里山ゾーン]

◎10/18(土)、26(日)

●FC今治高等学校里山校 Music Class/パフォーマンス

◎10/19(日)、11/2(日) ●FC今治ホームゲーム

◎10/25(土)・26(日)

●TINY GARDEN FESTIVAL
ASICS SATOYAMA STADIUM 2025

②砥部町エリア

[砥部ミュージアム通りゾーン]

◎10/18(土)～11/3(月・祝) ●作品展示(5作品)

◎11/1(土)・2(日) ●秋の砥部焼まつり

③内子町エリア

[小田ゾーン]

◎10/18(土)～27(月) ●井口 梓 作品展示

◎10/18(土)～11/3(月・祝) ●おだのれんのれんず



県内4つのエリアで 文化芸術の「豊かさ」を感じよう

「アートベンチャーエヒメフェス2025」

は、とべもり+（プラス）エリアをメイン会

場に、サテライト会場の砥部町エリア、今

治市エリア、内子町エリアの全4エリアで

開催。ひめラーの伴走のもと、24組の参加

アーティストや海外の芸術系大学の学生

などが、会場の関係者や地域住民と交流

しながら、作品を創作します。会期中は、

各会場で作品の展示や体験型プロジェクト

、パフォーマンスを行い、いずれもワクワク

する体験ができそう！なかでも注目

のエリアは、内子町エリア（小田ゾーン）。

愛媛大学の井口梓教授とゼミ生たちが、

地域とともに13年かけて内子町小田の歴

史文化を記録した約300枚の模造紙を

布に印刷し、地元の方々や学生など多く

の人たちと一緒に縫い合わせ、巨大な1

枚の布にした作品を展示します。

ほかにも「えひめ愛顔の子ども芸術祭

2025」「食のプログラム」などさまざまな

イベントも目白押し。秋のおでかけにぴった

りですので、ぜひ足を運んでみてください。

TOPICS.1

若きアーティストが集結！ 「えひめ愛顔の子ども芸術祭2025」

子どもたちのアート作品展示やパフォーマンス発表、来場者参加型のさまざまなワークショップ等、多彩なプログラムが繰り広げられます。

◎10/18(土)～11/3(月・祝) ※10/20(月)・27(日)は休園 ●えひめこどもの城

詳細は
コチラ！



えひめ愛顔の子ども芸術祭 2025
ehime kidomura art festival

TOPICS.2

障がいの有無問わず参加可能！ 「パラアートえひめ2025」

詳細は
コチラ！



「瑞宝太鼓」の愛媛公演や、とべもり+エリア飲食店等への作品展示、石村嘉成さんとネクストアーティストによる制作活動披露など、パラアートを体感できるイベントが盛りだくさんです。

パラアート
えひめ